



2024年11月10日

発行責任者 NPO 法人いた・エコ・ネット理事会

連絡先 090-7223-4689 横山

今号の記事

- ① コットン成長記録 ③
- ② 赤塚公園どんぐり祭り 10月12日(土)
- ③ 区民まつり 生ごみ回収作業 10月19日20日(土・日)
- ④ (株)レゾナック川崎工場(板橋区の回収プラスチックの処理工場)見学
- ⑤ 今後の活動

① コットン成長記録 ③

2024年コットンの成長記録 3(9/5~11/1)

中嶋 都子

5月30日に苗植えをし、前回は6月20日~8月22日までの成長記録をお伝えしました。

今回は、その後のコットンの成長をお伝えします。

この時期の一番の楽しみは、「いつコットンボールが弾けるかな~」「コットンの収穫はどれくらいかな~」ということでしょうか。

毎日様子見に行けないので私が行った時の記録です。

今シーズン初の開花の確認は7月18日でした。

コットンボールを見つけたのは8月7日です。

今シーズンの初収穫は9月5日でした。

○ 成長記録 (※気温はプレート根元の草の上で計測)

日付		天気	気温	時間	収穫量 g(内・園児さんの木)	
9/5	木	晴れ	31.0	15:30	50	初収穫
9/26	木	晴れ	30.0	15:25	180(20)	
10/3	木	曇り		12:30	185(25)	
10/7	月	晴れ	27.0	15:35	305(60)	
10/24	木	曇り	23.0	15:15	50(10)	収穫体験前のため落下ワタのみ
11/1	金	晴れ		10:30	600	シニア体験講座収穫体験
				合計	1,370(115)	

このほかの日の収穫は1,400グラムでした。

※ 園児さんの木は21本

○ 畑の様子



🐞コットン畑に来たアゲハチョウ

この夏は酷暑…。私自身は暑さに負け体調不良のためコットン畑に行く回数が減ってしまいました。しかし、コットンたちは枯れることもなく、ぐんぐん成長。摘心をしたにもかかわらず、160cm超えになる木もありました。

今シーズンは台風が来ることもなくホッとしました。

酷暑にも負けずに実ったワタはこれからもまだまだ収穫できます。

おまけ」で、収穫時にカマキリにも会えます(笑)。きっとそのカマキリが、今シーズンもまた木に卵を産み付けてくれるだろうと思います。小さなコットン畑で毎年繰り返されるカマキリの一生がちょっと楽しみだったりします。

散歩にいい季節になりました。きれいな蝶にも会えるかも…。お時間のある時にコットン畑にちょっと立ち寄ってみてください。

「50代・60代のための地域活動入門」の活動体験の受け入れが

11月1日(金)10時半～行われ、11月17日(日)10時半～も予定されています。

11月8日(金)には、5月に苗植えを一緒に行った赤塚公園の近くの保育園児と収穫が行われ、コットンを使ってマグネットとストラップのワークショップも行うことになっています。

次号でお知らせいたします。お楽しみに！



② 都立赤塚公園 どんぐり祭り 10月12日(土)

心配していた天気も晴れて暖かなお祭り日和の中、大勢の方が訪れてにぎやかな祭りになりました。

開催は10時からですが、10時前には来場者がいらして、午前中は待ち時間も出るほどで、親子が自分だけのオリジナルなストラップとマグネットづくりに、挑戦！！子どもたちの創造性は最高です。思いもやらない素敵な作品がたくさん出来上がりました。

125組の方々が楽しんでくださいました。 参加した会員は、午前中6人 午後5人



③ 第53回 板橋区民まつり 生ごみ回収作業 10月19日20日(土・日)

10月19日20日(土・日)に、第53回板橋区民まつりが開催されました。



9月24日に 所管の暮らしと観光課との打ち合わせを行い、当日2日間、ごみステーションを担当するシルバー人材センターの会員の方々への説明会を10月4日(金)14時から15時に行なって、糠の調達は今年も環境政策課にお願いをして、取り組みの準備を進めてきました。回収に必要な資材等は、横山の次男に車で前日の16時頃、生ごみ回収の拠点になる板橋第1中学校のプール下に運んでもらいました。

10月19日(土)10時15分から設営を開始、今年度は、志村製函所の協力を得て、ごみの段ボール箱に種別の印刷がされて、ごみの種別を表す紙を貼らずに済み、手間が



かなり簡素化されました。さらに昨年の教訓をもとに準備を丁寧にしたので、比較的早くごみステーションの準備ができ、ほっとしました。

19日 10時15分～ 設営 14時半 11.73キロ 17時 9.5キロ 合計21.23キロ

20日 11時 3.8キロ 14時 13.3キロ 16時 8.9キロ 合計26キロ 総計47.23キロ

昨年の区民まつりより、回収量が5キロ減でした。

回収作業に参加した会員 19日 5人 20日 5人

👉回収した生ごみに混じる異物を取り除く

21日(月) 10時45分 回収した生ごみを、生ごみから飼料を作る会社に運ぶ要工業に引き渡して、区民まつり生ごみ回収作業は終了しました。ちなみに 要工業の回収車が計った量は47キロでした。



糠をかけて水分を取る



要工業に引き渡す前の生ごみ



④ (株)レゾナック川崎工場(板橋区の回収プラスチックの処理工場)見学

R6.10.11 株)レゾナック川崎工場プラスチックゴミ処理場見学会 エコポリスセンター主催

レゾナック川崎工場では、様々なリサイクル手法があるなかで、ケミカルリサイクルの中のスガ化という手法を行っています。

<ケミカルリサイクルとは>

使用済みプラスチックを燃やさず、熱分解して化学原料などにほぼ全量、製品として蘇らせるリサイクル

<ガス化>

プラスチックの成分を有効に利用する

メリット ・素材を選ばない ・新品と同じ品質のものができる ・ほぼ全量再生できる

<リサイクルしたプラスチックは何になる？>

アンモニアと炭酸製品に生まれ変わる

アンモニアからできるもの アクリル繊維原料 ナイロン繊維原料 窒素系肥料 接着剤原料

クリア系樹脂 NOx無害化剤

炭酸製品からできるもの 炭酸 ドライアイス



👉 アンモニアをもとにした製品



👉 委託した自治体から 1 m³ 300 キロ 1つ 5 万円で請け負う



👉 回収したプラを粉碎し異物を除去して形成プラに



👉 粉碎した使用済みプラスチックの中から取り除いた異物

約 520 万人から出される 1 日分の使用済みプラスチックから 180 t/日のアンモニアが作られています。板橋区の区民から回収したプラスチックは、レゾナック川崎工場で処理されています。板橋区民のプラスチックの回収率は、現在 40% (環境資源課) ということです。



👉 後方はガス化炉 蒸気と少量の酸素を用い熱分解や部分酸化させ、プラスチックの固まりをガス化する工程



⑤ 今後の予定

11月13日(水)	環境団体連絡会 欠席
11月17日(日)	10時半～11時半 シニア体験講座受け入れ 収穫体験
11月	保育園年長組園児 コottonのワークショップ
11月20日(水)	環境見本市実行委員会 欠席
11月25日(月)	赤塚公園友の会議 欠席
12月4日(水)	10時半～12時 理事会
12月22日(日)	いわき市 NPO 法人 ザ・ピープル 吉田美恵子さん出版記念祝賀会出席
1月5日～31日	エコポリスセンター展示
1月	コotton畑じまい ・ 腐葉土・たい肥づくり
2月1日～2日(土・日)	環境なんでも見本市 展示ワークショップ
3月5日(水)	10時半～12時 理事会

コotton適宜 収穫

赤字は皆さんの協力・参加をお願いします。
変更の場合があります。横山まで問い合わせください。



暑さのせいにして、マガジンの発行が遅れてことお詫びいたします。

2024年もあと1か月半、1年がとても速く、歳を取ったのだと改めて思います。今年、夏の暑さの厳しさに負けて生活が思うようにいかなかった日が多いのも歳のせいと思ったりしています。とにかく1年の早いこと！！

2024年度の活動は続きますので、皆さんと頑張りたいと思います。

2016年から始まった「3.11から未来をひらく会」が、2022年の映画会・講演会を最後に、活動を休止することになりました。昨年2023年度、開催できなかったので、今後どうするか実行委員会に参加している環境団体が集まり、検討した結果です。2019年はコロナウイルス感染症で中止を余儀なくされましたが、7年にわたり原発について考える機会を作ってきたことは、大いに意義あること考えています。

衆議院選挙が終わりました。長く続いた保守議員から革新と言われる議員に変わりました。期待したいと思う今頃です。

文責横山

